

令和2年度学校自己評価システムシート (県立熊谷高等学校 定時制課程)

目指す学校像	自ら考え、判断し、目標に向かい着実に努力するとともに、他者への思いやりの心を持った心豊かな生徒を育てる学校
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 わかる授業に徹し、基礎学力の充実を図る。 2 生徒理解を深め、学校生活への適応指導を充実する。 3 積極的な情報発信、外部機関との連携を図り、開かれた学校づくりを推進する。 4 安全・安心な学校づくりに努める。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	生徒	4名
	事務局(教職員)	10名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標					年 度 評 価 (2 月 1 7 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成 次年度への課題と改善策	
1	<ul style="list-style-type: none"> 学習習慣定着、進路希望実現のために、個々の生徒の習熟度の把握に努め実態に即した指導計画の作成に取り組んでいる。生徒の学習意欲をさらに高め学力を向上させるためにも ICT 機器の利用やアクティブ・ラーニング手法の導入等、授業を改善する取り組みが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学びの基礎診断」等を活用し、生徒の学習達成状況を個別に把握し、適切な学習指導を行う。 「学びの基礎診断」等を活用して生徒の学習意欲を高め、自己の成長を実感できる進路指導を充実させる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①「学びの基礎診断」を年3回実施、基礎学力の定着に向けたPDCAサイクル構築する。 ②ICT機器の利用、アクティブ・ラーニングの手法を取り入れるなどの授業改善への取り組み。 ③進路面談を年2回実施するとともに、進路資料室を整備・有効活用する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①「学びの基礎診断」における学習達成率 ②各学期末および学年末の欠点保有率 ③卒業学年の生徒の進路達成率 ④ICT機器利用やALが効果的に行われているか。 	<ol style="list-style-type: none"> ①達成率の低い単元を中心に学習を行った。 ②休学者を除く欠点保有率を前年度並みに維持することができた。 ③進路決定率は63%→75%と増加した。進路未定者の指導を継続中である。 ④ICT機器等を利用した授業を実施した。公開授業はできなかったが、未来を拓く「学び」プロジェクトの研究開発員が協同学習の手法を取り入れた授業を実施した。 	B B	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人を大切にすることを教育を実現する観点からも、これまでどおり各学期実施している「学びの基礎診断」結果を活用して、苦手とする箇所を丁寧に補うことにより、生徒の学び直しをサポートする体制を強化する。
2	<ul style="list-style-type: none"> 授業、面談指導、部活動等とおして生徒が抱える問題を把握し、学校生活を充実させるきめ細かい指導を心掛けている。学校生活にやりがいを感じ学校や集団への帰属意識を高めるためにも、学校行事や部活動の運営方法をさらに工夫して充実させる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒と教員の信頼関係を築くとともに、外部機関と適切に連携を図る。 学校行事や部活動を活性化し、学校への帰属意識を高める。 	<ol style="list-style-type: none"> ①外部機関(SC・サポステ)との連携によって生徒を多面的に理解し、情報の共有により適切な指導を行う。 ②学校のセールスポイントとして「総合的な探究の時間」、生徒会活動、学校行事を活性化させる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①定時制高校への支援事業を有効に活用し、生徒の中退防止につなげる。中退率 ②1日平均の欠席、遅刻人数割合 ③生徒の学校行事の出席率 	<ol style="list-style-type: none"> ①外部機関との連携により生徒の支援を行い、低い中退率を維持している。 ②毎日廊下に職員が立って健康観察や声掛けをすることで欠席、遅刻人数割合を昨年と同程度に維持できた。 ③コロナ禍の影響はあったが、担任の指導により、学校行事の参加率は昨年と同程度に維持できた。 	A B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒等に学校生活に適応できるようにSCやサポステの活用を継続する。特に転編入学の生徒の支援を強化したい。 学校行事に生徒が主体的に参加できるように運営方法を工夫する。
3	<ul style="list-style-type: none"> HPの利用や学校説明会等の運営方法見直しにより、本校の魅力や学校の特色を外部へ発信する取り組みに力を入れている。本校への入学希望者数が増加しまた保護者の学校行事参加率が上昇するようにSNSによる双方向の情報発信や動画配信の検討など広報活動をさらに工夫して充実させる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある公開行事を計画し、保護者の参加を促す。 本校定時制の特色アピールに関する広報活動を充実させ、「入りたい学校」として受験生に選ばれようとする。 	<ol style="list-style-type: none"> ①学校行事や公開授業に関する広報活動を充実させ、保護者等の来校者を増やす。 ②本校の教育内容を伝えるホームページ等の内容を充実させて、学校説明会の参加者を増やす。 	<ol style="list-style-type: none"> ①学校行事への保護者参加率 ②本校志願者数 ③定時制ホームページの情報は常に最新であるか。 	<ol style="list-style-type: none"> ①コロナ禍ではあったが、感染防止対策を徹底してPTA総会を開催することができた。 ②効果的な学校説明会の甲斐もあり、志願者数は3倍となった。また定時制の特別募集に毎年志願があり、学び直しの場所として認知されている。 ③今日のコンダテ!!2020を毎日更新できた。また熊定Blogで最新の情報を提供した。 	B A	<ul style="list-style-type: none"> 連絡を速やかに共有し、保護者への通知を確実にするためにメール配信システム等の導入を検討。 地域における本校の役割(学び直しできる場所)としての広報活動に力を入れ入学希望者の増加に努める。
4	<ul style="list-style-type: none"> 施設・設備の安全維持に努めるとともに、自校給食実施校として衛生面での安全・安心の確保に努力している。三ない運動の廃止を踏まえた自動二輪車および自転車の安全指導を行うなど、登下校中の交通事故数を減少させて学校がさらに安全・安心な場所になる取り組みに力を入れる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全指導を充実させ、登下校中の交通事故をなくす。 安全、安心な学校生活を送るための設備・給食点検の精度を高める。 	<ol style="list-style-type: none"> ①自動二輪車・自動車使用者のルールを整備して、交通安全教育(マナー指導を含む)を行う。 ②巡回による設備点検を日常的に行い、給食点検や検食を確実にを行う。 	<ol style="list-style-type: none"> ①登下校時の交通事故件数 ②HR 教室や使用教室に危険な場所はないか。速やかに改善したか。 ③給食に異物混入はないか。 	<ol style="list-style-type: none"> ①自動車・自動二輪車の免許取得のルールを整備するなど、交通安全教育に力を入れた。2月16日現在本年度の交通事故数は0件である。 ②新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、毎日の消毒作業時に教室点検を実施した。 ③給食に異物混入等の事故はなかった。給食室の修繕も適切に行われた。 	A B	<ul style="list-style-type: none"> 通学時の安全確保のため、自転車運転のマナーなどを含めた安全指導のより一層の充実を図る。 消毒作業の効率化を図りながら感染症拡大防止に努める。 地震や台風などの災害に備えた防災計画立案と防災訓練の充実を図る。

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和3年3月8日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>定期的に来ている学習サポーターの活用に関するアンケート結果から、生徒の学習活動の支援に関して、約7割が高評価するなど良い結果であった。引き続き生徒の学習意欲を高めるために継続してほしい。また、これまで同様、生徒の主体的学習を促す、ICTの積極的な活用を通じて生徒の学力向上に努めてほしい。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 外部機関との連携した各種行事により、生徒の視野を広げることに役立っている。今後も生徒の様子を見ながら積極的に企画してほしい。 コロナ禍で行事等の活動に制約がある状態であったが、担任等の寄り添う指導により、例年並みの活動実績と参加率を維持でき良かった。 	
<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍ではあるが感染防止対策に配慮しながら、様々な工夫をし、多くの行事を実施できたことはとても評価できる。今後の感染状況や他の対策等も見ながら、生徒への教育的効果を配慮し、次年度に向けてより良い教育活動を維持してほしい。 継続して給食を提供できたことや内容をアップできたことは素晴らしい。今後も継続してほしい。 	
<ul style="list-style-type: none"> 生徒の安心安全を確保するために日々の消毒作業や感染防止に向けた教育活動は非常に良かった。また、交通事故や安全な給食、施設の維持管理等も含めて、これまで同様、引き続き安心して生活できる教育環境を維持してほしい。今年度、生徒の安全に配慮していただいたことに改めて感謝します。 	